

IR中心の夢洲開発を改めよ

大阪市議会建設港湾委 井上浩議員が質問

10日の大阪市議会建設港湾委員会で日本共産党の井上浩議員は、大阪湾に浮かぶ廃棄物処分場の夢洲のIR（カジノを核とする統合型リゾート）用地と、万博跡地の夢洲第2期区域の問題などについて質問しました。

扱いは現時点で決まっていらないと答弁しています。

井上氏は、IR用地での788億円の公費負担について、「ここまでの優遇は前例がない。これからの夢洲のまちづくりが大きな矛盾に直面する」と強調。第2期区域の土地課題対策費用についても、IR用地と同じ対応が開発事業者から求められる恐れがあると警

告しました。

井上氏が、IR用地の不動産鑑定評価で、IR開発後にIR事業者が市に納める納付金は考慮されるのかと質問したのに対し、市は「考慮されない」と答弁。井上氏は土地課題対策で788億円の公費支出を決め、IRを誘致するにもかわら

ず「IRを考慮外」とするなど、違法・不当な不動産鑑定評価で、IR用地の賃料を大幅に値引きしてきたこと改めて批判。「IR中心の夢洲のまちづくりを軌道修正すべき」と主張しました。

IR用地を巡り、市は土壌汚染や液状化など土地課題対策の全費用788億円を公費で負担。第2期区域については2月19日の建設港湾委員会、井上氏の質問に対し、土地課題対策費用の



質問する井上議員 10日、大阪市議会建設港湾委